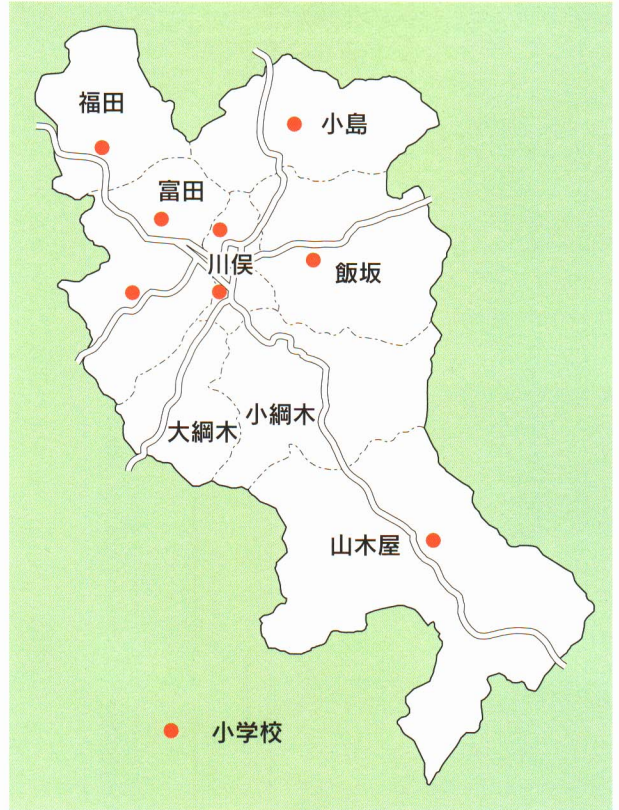


## (2) 地名のおこり

川俣町、飯野町、月舘町、などをふくめた地域は、かつて「小手郷」とよばれましたが、これは、ようさん、はたおりの祖と言われる小手姫ひめの名から出たものだと言われていてます。

「川俣」という地名は、町を流れる広瀬川（小手川）を五十沢川とが合わさる地いきひろせ（川股＝かわまた）の形によりつけられたと言われていてます。

また、小手姫のふるさと大和国やまとのくに（奈良県）川俣の里にちなんひろせでつけられたとも伝えられていてます。



## (3) 川俣町のなりたち

現在の川俣町は、昭和30年3月1日に、それまであった、川俣町、富田村、福田村、小島村、飯坂村、小綱木村、大綱木村、山木屋村の1つの町と7つの村が合わさり、新しい川俣町が生まれました。

明治元年	明治9年	明治19. 12. 31現在	明治22年
		人口 戸数	
町 小綱木村	川俣村	(3673 688)	川俣町
町 飯坂村			
在 飯坂村	飯坂村	(1177 215)	飯坂村
在 小綱木村	小綱木村	(869 142)	小綱木村
新田 小綱木村			
大綱木村	大綱木村	(617 94)	大綱木村
鶴田村	鶴沢村	(1180 182)	川俣町
松沢村			
東五十沢村	東福沢村	(673 106)	富田村
西五十沢村	西福沢村	(806 114)	
小神村		(702 97)	
羽田村		(899 153)	福田村
元秋山村	秋山村	(1039 158)	
上秋山村			
小島村		(1464 226)	小手村
山木屋村		(977 158)	山木屋村

川俣町  
昭和30年3月1日

● 小学校



むかしの川俣町は、どんなようすだったのかな。学校はどこにあったのかな。おじいさんやおばあさんに聞いてみたいな。